

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援センターあおぞら園		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 12日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 12日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外部の専門機関が定期的に来園している	徳洲会病院の作業療法士、理学療法士に月に1回、歯科衛生士に月に2回、療育等支援事業で年3回講師を招聘し、職員のスキルアップ、利用児童の支援を行っている。	支援の質を高めるため、さらに連携を深めていく。また、他の外部機関との連携を必要に応じて実施していく。
2	地域(他事業所・役場・図書館・お店等)との交流を多く図っている。	園内行事を行う際に他事業所、近所住民の方等を招待する。園外行事(ハロウィン・勤労感謝の日)では地域のお店、役場、図書館等に協力していただき、交流を図っている。	交流の場をより広げる、増やす、ことで子どもたちの安心した地域生活に繋げていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画・避難マニュアルの周知が不十分。	ホームページにて掲載をしているが、周知の仕方が不十分であった。	周知の方法(ホームページのリンク先を配信等)を改善する。
2	活動や行事の取り組み等の認知が不十分。	活動や行事の取り組みについて、周知の仕方が不十分であった。	・ICTを使用し、取り組みの内容が分かりやすい写真を添付する。 ・やり取りの少ない保護者との関わりの改善
3			